

(連結業績概要)

2016年度 連結業績

(単位:百万円)

	15年度 ①	16年度 ②	前期比増減	
			②-①	増減率
売上高	16,559	17,222	+663	4.0%
営業利益	1,307	1,565	+258	19.7%
経常利益	1,593	1,833	+240	15.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,216	1,068	△146	△12.1%

(注) ・15年度には、破産更生債権の処理に伴う特別利益297百万円および水害被害による特別損失を145百万円計上しています。

・16年度には、PCB処理関係費用を環境対策引当金として198百万円を特別損失として計上しています。

・16年度には、1月に子会社化した株式会社セイタンの業績(売上高1,153百万円、営業利益73百万円)が加算されています。

【期末配当】 14.0円 (年間 14.0円、前期比±0円)

※上記配当金の他、株主還元の一環として以下のとおり自己株式の取得を行いました。

- ・取得総数:1,558,300株(発行済株式総数に対する割合 5.67%) ・取得金額:917,728,963円
- ・取得期間:平成28年2月15日～平成29年2月14日

2017年度業績見通し

(単位:百万円)

	16年度 ①	17年度見通し			前年度比増減	
		上期	下期	計 ②	②-①	増減率
売上高	17,222	10,100	10,300	20,400	+3,177	18.4%
営業利益	1,565	800	900	1,700	+134	8.6%
経常利益	1,833	900	950	1,850	+16	0.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,068	500	700	1,200	+131	12.3%

(17年度見通しポイント)

1. 売上は、鍛造事業で i 国内商用車関連の一部鍛造品は、取引先の調達方法の変更等による受注減少見込 ii タイ市場は引続き停滞が見られる。一方、セイタンの通期の寄与が見込まれる等から、全体では前年度比31億円の増加を見込む。利益面は、エネルギー関連費用の負担増加が見込まれるが、売上増加に伴い前期比1億円の増加を見込む。
2. 17年度のタイ・パーツ換算レートは、3.16円/パーツ(16年度実績比△0.09円/パーツ)で予想しています。

1.セグメント別 売上高・営業利益の状況

(単位:百万円)

		15年度 ①	16年度 ②	前期比増減	
				②-①	増減率
鍛造事業	売上高	12,981	13,813	+832	6.4%
	営業利益	1,104	1,414	+309	28.0%
建機事業	売上高	2,408	2,293	△114	△4.8%
	営業利益	429	402	△26	△6.2%
物流事業	売上高	1,042	951	△90	△8.7%
	営業利益	76	71	△4	△6.4%
不動産事業	売上高	127	164	+36	28.7%
	営業利益	53	72	+18	35.0%
セグメント計	売上高	16,559	17,222	+663	4.0%
	営業利益	1,664	1,906	+296	17.8%
全社費用		△356	△394	△38	—
損益計算上の営業利益		1,307	1,565	+258	19.7%

2.鍛造事業の内訳

①生産国別 売上高の状況

(単位:百万円)

	15年度 ①	16年度 ②	前期比増減	
			②-①	増減率
国内売上高	6,341	7,550	+1,209	19.1%
タイ国売上高	6,640	6,262	△377	△5.7%
合計	12,981	13,813	+832	6.4%
(参考) タイ・パーツ換算レート	3.35円	3.25円	※タイ国売上高減少のうち、パーツ安により193百万円減少しています。	

②用途別 売上高状況

	15年度 ①	16年度 ②	前期比増減	
			②-①	増減率
自動車産業向け	9,650	10,182	+531	5.5%
建設機械産業向け	3,330	3,631	+300	9.0%
合計	12,981	13,813	+832	6.4%

※自動車産業向けには、乗用車・商用車・トラック・フォークリフト向けを含みます。

※建設機械産業向けには、産業機械向け・建築部材向けを含みます。

3.営業外損益内訳

(単位:百万円)

	15年度 ①	16年度 ②	前期比増減	
			②-①	増減率
営業外収益	313	314	+1	0.5%
受取利息	48	42	△5	△12.0%
受取配当金	147	141	△5	△4.0%
スクラップ売却益	18	20	+2	+14.0%
その他	99	109	+10	+10.8%
営業外費用	27	46	+19	+71.0%
支払利息	7	6	0	△12.8%
金型廃却損	14	29	+14	+103.1%
その他	5	10	+5	△102.4%

(注)・従来の「作業くず売却益(製造工程で発生する作業屑の売却益)」は、15年度より表示方法の変更により営業外収益から売上原価の戻しに変更しております。

4.設備投資・減価償却の状況

(単位:百万円)

	15年度 ①	16年度 ②	前期比増減		17年度 (期初計画)
			②-①	増減率	
設備投資額	2,372	2,076	△296	△12.5%	1,200
(うち 鍛造事業)	(1,573)	(860)	(△712)	△45.3%	(700)
減価償却実施額	997	1,039	+42	+4.3%	1,150

◎ 16年度設備投資の主な内容

- ① 建機事業相模原機材センター用地取得(15年度支払分含む) 978 百万円
- ② 鍛造事業タイ子会社受電設備増設(15年度支払分含む) 301 百万円
- ③ 建機事業北関東機材センター設備新設 185 百万円
- ④ 国内外鍛造工場の設備改修工事 等 612 百万円

※上記以外に、株式会社セイタンの株式譲渡代金387百万円を投資しました。

◎ 17年度設備投資予定の主な内容

- ① 鍛造事業タイ子会社アクスルシャフト第3ライン新設ならびに既存ライン改造 350 百万円
- ② 国内外鍛造工場の設備改修工事 等 850 百万円